

(有) 柏廃材処理センター

三回目?! の
火災事故への対応は?

■火災内容

・火災場所 通常運転中、焼却
炉への投入コンベアで発火

・発生時間 10月14日18時22分

・住民より消防署へ通報

・火災原因 ベルトと廃棄物の摩擦によると推定された

・周辺への影響 コンベア火災による大量の煙の発生

■指導経過

・10月15日 県の廃棄物指導課、

野田市消防、野田市環境保全課による現地調査を実施。事故報告書及び改善計画書の提出を指導

・10月16日 事業者から事故報告

及び改善報告書が提出された

・10月19日 改善工事の完了を現地で確認



市議
小室 みえこ

小室 火災を通報したのが、住民であつたと聞きましたが、なぜ事業者からの通報ではなかつたのでしょうか。

消防長 火災発生時は、4名の従業員がおり、それぞれが初期消火に当たつており、通報を怠つていたということですよ。

小室 消火設備や防災計画は適正なのでしょうか？度重なる火災事故は防災意識に大きな問題があります。

消防長 これまで2回の火災事故の際に指導を行つてきました。また、従業員の数から防火管理者の専任を置く対象ではなく、消防計画の義務がありません。しかし、数回の火災を起こしていることから定期的に立ち入り検査を行い消防設備の適正化と防火意識の向上を指導していきます。

小室 まめメールによる火災発生情報に、柏廃材が火元だと知らせる必要があつたと思います。少なくとも近隣の方は、窓を閉める洗濯物を取り込むなどの対応ができたはずですよ。

消防長 今回のことを受けて、今後は柏廃材付近とお知らせするようにします。
(今後の火災事故は勘弁です)

小室みえこのコメント

産業廃棄物を処理する施設でも防火管理者を置くことも防災計画を立てる対象でもないとは驚きました。これまでの経緯から防災意識の不足は明らかです。住民が通報していなかったら？と考えると問題は深刻です。

今後の指導によつて改善が図れるのか、厳しい目を向けていく必要があります。

市民団体による

甲状腺検査から

見えてくること

野田市内で初めて甲状腺エコー検査が実施されました。50名の募集に対して2倍近い申し込みがありました。市外からも寄せられる健康調査の必要性について質問しました。

小室 実施の結果、野田市でも健康調査を受けたという方が大勢いたことが分かりました。このことについてどう考えますか？

市長 確かに心配の声があることは承知しています。しかし、医師会や小児科医複数の見解は、野田市の線量から直ちに検査を実施する必要はなく、健康被害があつたという認識はないということです。

小室 福島第一原発による健康不安から子どもたちの甲状腺エコー検査を震災復興特別交付金枠で賄うことができると思ひました。これまで、松戸市や柏市の健康調査もこの交付税の枠の中で経費を計上しているようです。この震災復興特別交付税は、5年間の措置でしたが、さらに5年間の継続が決まっています。

市長 交付税の問題ではなく、医師会に依頼できる材料は出ていないと考えています。

小室 健康調査の運営に携わつた市民団体が、報告書をあげてくれました。子どもたちの健康を心配する声にこたへるためにも市民団体との協力体制を望みます。

小室みえこのコメント

野田市は、7月23日に国のパブリック・コメントに意見提出をしています。空間放射線量が低減したとしても不安は解消されないとしながら、あくまでも国が汚染状況重点調査地域の住民も対象に加えるべきと意見しています。

国が聞き入れない現状では、市としてできることを柔軟に実施してほしいと思います。